

<b>授業科目名</b>	基礎ゼミナール (2100307)		
<b>時間割名</b>	基礎ゼミナール (41101)		
<b>時間割担当</b>	オチャンテロサ		
<b>実施期</b>	通年	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	木・1		

### 授業の目標・概要

幼稚園教諭・保育士になろうとしている者として、高度な専門知識と確かな学士力を身につけるための見通しと目標を持って過ごすことができるように、大学4年間の学習や研究活動の計画を立てる。保育者になるための基礎づくりをしながら、保育者としての責任と使命感を育てる目標としている。また、社会に貢献できる大人の育成のため、必要な基礎知識、マナー、社会の共通理解について学ぶと共に文献研究の方法や人間教育学としてのレポート作成法など、これからの専門研究の基礎となるアカデミックスキルを身につけることに主眼を置く。

### 学習の到達目標

- ・保育・幼稚園教育の基礎を理解し、教育者としての使命感を育てる
- ・子どもの心理、幼児教育・保育の本質と現状を具体的に理解する
- ・論理的な構成で、説得力のある発表を行う
- ・グループ討議や相互批評を通して、コミュニケーションスキルを高める

### 授業方法・形式

- ・1回生クラス担任が指導を行う。
- ・具体的なテーマを設定し、学生自身が考え、調べてまとめ、最終的に発表するまでを主体的に行う。
- ・調査、観察などを含む情報収集方法、ブレインストーミング、プレゼンテーション、意見交流など多様な活動を行う。

### 授業計画

#### 【前期】

- 第1回 ガイダンス : 「基礎ゼミナール」の意義と目標
- 第2回 ガイダンス : 自己紹介, 目標設定と履修計画
- 第3回 文献・資料検索の方法 図書館の利用方法等
- 第4回 敬語の使い方: メールの書き方、保育者としてのマナー
- 第5回 保育者になるための基礎的な知識
- 第6回 保育者になるための基礎的な知識 : 自分自身の身体の様子と心のケアについて
- 第7回 幼稚園教諭・保育士になるということ
- 第8回 幼稚園教諭・保育士になるということ
- 第9回 幼稚園教諭・保育士と心理学
- 第10回 幼稚園教諭・保育士と心理学
- 第11回 採用試験における音楽技能また、保育現場で行われる音楽活動について
- 第12回 プレゼンテーションの方法、課題テーマの選択、資料の収集・プレゼンテーションの準備
- 第13回 プレゼンテーション
- 第14回 プレゼンテーション
- 第15回 前期で学んだことの成果と課題を幅広く情報発信する。(前期課題レポート作成)

#### 【後期】

- 第1回 ガイダンス: 「基礎ゼミナール」の意義と目標を確認する、前期の復習
- 第2回 保育・幼児教育の中の造形活動: 体験を通して学ぶこと
- 第3回 幼児期における運動の重要性: 神経の発達と運動の発達
- 第4回 子どもの体力・運動能力の低下について
- 第5回 障害のある子どもの保育について: 事例を通して考えてみよう。
- 第7回 幼稚園・保育園における多文化教育: 外国にルーツを持つ子どもたちの現状と課題について
- 第8回 多様な子どもたちにとってより良い教育・保育を目指すために
- 第9回 幼稚園・保育園での就職状況の現状と今後の見通し
- 第10回 保育職について考える
- 第11回~第12回 グループで設定したテーマについて調べる・考える - 発表原稿、レジュメ等の作成 -
- 第13回~第14回 グループで設定したテーマについて発表する - 意見交流会 -
- 第15回 意見交流会をふまえ、自分たちの学びや取り組みについてまとめる。

### 成績評価の基準

積極的な授業参加、プレゼンテーション、課題・レポート等を総合的に評価する。

### 準備学習・復習及び授

大学での授業は、自ら考え、疑問や問題点を整理することが、これまで以上に求められる。保育・幼児教育や教諭としてのあり方等について、普段から見識を高めるようにすること。

グループ内の協議については、授業時間外においても積極的に行うこと。

## 履修上のアドバイス

大学での授業は、既存の知識を「覚え」「正解を導き出す」ことだけではありません。自ら考え、疑問や問題点を整理し、それを解決するための方法を模索することが大切です。「基礎ゼミナール」では、こうした研究に取り組むとき必要な“アカデミック・スキル (Academic Skills)”を学習します。大学で初めて経験する過程を大切にして、研究を続けていくために必要なことを学び、次の研究のステップに進んでいくことを期待します。

## 教材・教科書

紙透 雅子 2017「保育の道をめざす人へのアドバイス」改訂版 みらい

## 参考書

特になし。必要に応じて、授業中に指示します。